



松本市民生委員・児童委員協議会だより

第88号

令和5年8月31日

ふれあい

発行者 松本市双葉4番16号
松本市民生委員・児童委員協議会
会長 草深邦子

ブロック総会・研修会 開催

令和5年6月9日
第82回 南部ブロック部会総会 講演会・懇親会



令和5年6月24日 第三ブロック研修会 松本大学総合経営学部 尻無浜教授 講演

障がい者福祉部会 視察研修 P2
高齢者福祉部会 視察研修 P3
主任児童委員さんにお話を聞きました P4
連載 今回のニューフェイス P5

民生委員・児童委員活動事例 P6
部会活動・地区活動の様子 P7
地区とのかかわり・つぶやき・編集後記 ... P8

障がい者福祉部会視察研修を終えて

障がい者福祉部会 副部長 横山 恵美子

6月21日今年度第2回目の活動として、障がい者福祉部会視察研修を行いました。

松本市のバスを貸し切り、社協と市の方を含め総勢30名で、障がい者支援施設「あい・アドバンス今井」と福祉型障がい児入所施設「長野県信濃学園」を視察訪問しました。

午前視察の「あい・アドバンス今井」では2班に分かれ、施設説明と施設内部見学を2時間弱かけて案内していただきました。

施設では、日中の活動を各人の個性などにより5つのグループに分け、作品作りや課題に取り組んでいるとの事で、いくつかの活動を見学させて頂きました。また、週1回のクラブ活動もあり、アート、音楽、軽運動など自由で楽しい雰囲気の間もあるそうで、廊下には沢山の作品が展示されていました。その廊下では他施設との連携により来所している多機能型事業所「チャレンジ松本」の数名が清掃作業をされていました。作業しながら明るく元気な声で挨拶をして迎えてくれた事がとても印象的で心温まりました。

昼食を挟み午後の「信濃学園」では、モニターにより施設内の説明や日常の様子を1時間程お聞きしました。この福祉型障がい児入所施設は、現在長野県内では唯一こちらの施設だけだという事でした。

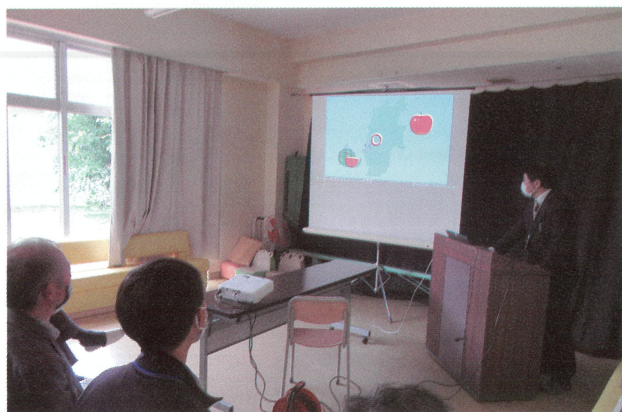
どちらの施設も、時には感情を抑えられず物を壊したり、自身や人を傷つけてしまう事案が少なからずあるそうです。そんな中で、日々をいかに楽しく心穏やかに過ごせるのか職員の皆さんの心配り、並々ならぬ努力やご苦労を感じる研修となりました。

「あい・アドバンス今井」は、昭和49年今井学園開設よりまもなく50年を迎えるため、利用者の方の高齢化が進み今後は高齢者施設の役割も担うとの事で増々職員の負担など課題が懸念されると感じました。

そして、職員だけでは手が足りないなのでボランティアなどのマンパワーの力を借りたいとの切なる願いもお聞きました。



〈あい・アドバンス今井〉 施設の説明をお聞きしたあと内部見学をしました。



〈信濃学園〉 施設や日常生活についてのお話をお聞きました。

高齢者福祉部会視察研修

高齢者福祉部会 部長 岩上 友重

私達高齢者福祉部会は6月20日(火)四賀デイサービスセンターを含む施設内見学を総勢33名で訪問しました。

デイサービスセンターに向かっているバスの中は一期生が多く静かでしたが、次第に緊張がほぐれ、「今日は素晴らしい青空ですよ。」「私晴男です。」など情報交換をしているようでした。

バスは四賀デイサービスセンターぶくぶくの郷駐車場に着き、バラ園を30分ほど見学。2021年6月にバラ公園が開設されました。当初は少なかった株も今では多くなったそうです。広くはありませんが色々なバラの香りに癒されました。

この後二班に分かれてのデイサービスを見学しました。中に入ると広い窓により風通しの良い施設です。

入浴場所を見学。浴室も広く明るく大きな浴槽があり、H型の手すりも導入されていてつかまりやすくて体にあつた入浴ができます。他には平行棒を使った歩行訓練、個別の機能訓練スタッフも充実しています。ちょうど、レクリエーションの時間だったので私も仲間に入り楽しい時

間を過ごしました。

この後別室での講話を30分程聞きました。四賀地区の人口の減少問題と少子化対策について社協地区センターの課長さんと職員さんが話をしてくれました。四賀村と松本市と合併した2005年3月には人口は約5,800人で現在は約3,000人に減少を続けています。四賀地区は行政に頼らず地域でのささえあい事業を始めます。それは住民が住民をささえる活動です。民生委員を中心に人材の発掘、育成から始め一人暮らしの対象者の確認と状況把握を行っています。

行政ではできない多様なニーズに対応する地域での福祉活動メニューは、かわりの隊(困ったときのお手伝い)、お届け隊(手作り弁当の配達と見守り)です。地域住民での素晴らしい事業だと思いました。勉強させて頂きました。

帰りの時間となり、安曇野スィス村にてお土産を買い、疲れた時の甘い物と皆でソフトクリームを食べました。バスに乗りこの一日は楽しくも有意義な視察研修となりました。



ぶくぶくの郷 入浴場所 見学



ぶくぶくの郷



四賀地区センター
「かわり隊」などについてのお話を聞きました。



四賀バラ公園見学

主任児童委員さんにお聞きしました

庄内地区

庄内地区民生委員・児童委員協議会 主任児童委員 久保 由美子

なぜ主任？実生活で一度もそのような役職についたことがない私は、主任児童委員として三期目を務めています。当初は、平日の昼間に集中する会議・研修・活動のため職場の休みの調整に苦労したり、先輩の民生児童委員さんからありがたいお叱りをうけたりもしました。

あっさり引き受けて甘かった！一期目の委員さんの中には同じように感じていらつしやる方もいるかもしれません。

けれども楽しい事もたくさんあります。この春から再開されたこんにちは赤ちゃん事業。生後3、4か月の赤ちゃんに会えるし、ご両親に話を伺えます。小学校や児童センターで元気いっぱいの子どもたちを見ることが出来ます。中学校で民生委員と生徒とのグループディスカッションがあつたときは、生徒たちのしつかりした意見に、感動のあまり泣きそうになりました。こうして身近に子どもと接する機会があるの

は、子どもが好きな私にはとてもうれしいことです。

主任児童委員会の研修では、児童虐待やヤングケアラーの問題なども勉強しました。幸い地区内に深刻なことはなく、私は内心安堵しつつ、いざという時は何か役にたてるのだろうか？といつも自問しています。

はじめの話にもどりますと、主任児童委員の主任とは民生児童委員のなかで主として児童を担当するものとの認識でよいかと思えます。

たくさんさんの新しい出会いがあります。微々たるものですが、地域に貢献しているでしょう。がんばりましょう、主任児童委員！



里山辺地区

里山辺地区民生委員・児童委員協議会

主任児童委員 村本 千絵美

今回広報部の方からこのような機会を頂きましたのでお話ししようと思います。

昨年の配布された「ふれあい」の中で民生委員改選にあたり成り手がいないことに触れていました。その要因としては仕事をしている人が多いのが原因だそうです。

私が主任児童委員のお話を頂いたのは4年前でした。下は13歳から上は17歳の3人の子育て中でした。仕事もしています。そんな中ですが、年の離れたお友達から「子育てしているお母さんたちに近い年代の方が望ましい。自分のことを優先して無理の無いようにやればいい」と推薦していただきました。

コロナ禍に突入し活動が自粛していましたが、定例会の他に地域の学校や保育園、児童センター、育成会の役が付きましました。昼夜問わず会議は開かれます。委員の中には還暦をはるかに越えている方もいらつしやいます。体力的なものを考えますと

活動を続けることは厳しいものがあります。仕事をしている年代も同じです。コロナの警戒態勢が緩み活動が戻り始めました。成り手不足が高齢者に負担がかかる老老活動になりつつあります。仕事を抱えながらでもできる活動の見直しを望みます。一回の内容を充実なものとし会議の日数や時間短縮、WebやZOOMを活用した時代に沿ったものになれば若い世代にも考える余地があるのではないかと思います。

今までやっていて相談案件は3件ほどです。平和が何よりですが、実際の不登校や児童虐待が起きている世の中ですし、相談されない現状です。主任児童委員の存在も必要なのかとも考えます。一期で交代する役員が多い中、改善をしようという機会がないまま終えていくのかと思います。今後の活動内容に期待します。

連載

今回のニューフェイス

令和4年12月1日から任期をスタートさせた1期目の民生委員児童委員さんにお話を伺いました。

芳川地区

芳川地区民生委員・児童委員協議会

伊藤 喜世子

市川 寛人

私は、34年間看護師として働いていました。しかし、定年後の再就職は体力に自信がなく、躊躇していました。そんな折に町会長からの打診があり、今までの経験を活かすことができるかもしれないと思い、委員を引き受けることにしました。

とはいえ、私の担当は新興住宅地なので、相談件数は少ないのです。それでも、地域の見回りをしながら、医療機関受診の是非や日々の食事や運動に関する質問などを受けています。また、これらの場では、自分の知識を再確認することもできます。

まだ、委員となって半年ですが、このような地域の方々とふれあいが一番大きな収穫だと思っています。これからも、微力ではありますが、地域に貢献できるように活動していきたいと思っています。

四期務めた前任者の御苦勞を思うと、新任の私が、この先役割を同等に果たす事ができる様になれるか、不安だらけの出発です。

担当が自分の住む常会ではないので、見守り訪問の際は、家の回りをウロウロして表札を覗く不審者と見られない様、事前に地図上で何度もお宅を確認し伺いました。半年が経ち不自然な動きも少なくなってきました。

新人研修会、月の定例会、先輩委員のアドバイスそして地域の方々と直接対話する事で役割が見えてきました。とはいえ、夜間や土日の急な相談、要請に對しその繋ぎをどうしたらいいのか、民生委員としてどこ迄関わったらいいいのか、その線引等悩ましい事も色々あります。地域の方の良き相談相手となる様に、新人委員元氣に頑張っていきます。

地区活動の様子

芳川地区

〈ほかほかクラブのお手伝い〉



芳川地区

〈地区定例会〉



芳川地区 〈バス研修〉

松本児童園と児童相談所を訪れました。 4月19日



民生委員・児童委員活動事例

笹賀地区

民生委員・児童委員協議会

千葉 保夫

笹賀の第1回定例会の二日後、町内を回っている時、何か歩き方がおかしい人が居てどこか悪いかと聞いた時、実はパーキンソン病だと言ってくれました。誰かに相談しているのかと聞きましたが、していないとのことだったので、すぐ改善センターに行き南西部地域包括支援センターの担当者と呼んで相談にのってもらいました。その方は、娘さんが嫁いで今は息子さんと2人暮らしの52才で、3年前に発病したそうです。当時は半日ほど仕事をしていましたが、今ではだんだんつらくなってきたのでやめたそうです。現在通院は2ヶ月に一度、息子さんが休みを取って連れて行ってくれるそうです。今後も担当部署と連絡を取りながら見守りを続けていきたいと思っています。

14町会から成り立っている笹賀地区ですが、菅野町会ではアパートで生活している60名を除いて420名います。当町会も高齢化が進み70代が70名、80代が40名になり、民生委員の活動がとても重要です。週1回は町内を回って声掛けを行い、いろいろな相談に乗っていますが、今まで元気だった人がだんだん歩くのがつらくなる姿を見ていると心が痛みます。どこの地域でも一緒だと思いますが、子供が成長すると夫婦だけの生活になって、地区の極小化が進み、近隣の助け合い機能も失われつつありさびしい限りです。

寿台地区

民生委員・児童委員協議会

会長 柴田 康光

寿台地区は民生委員・児童委員11名で活動を行っています。私を含め9名は新任と言うことと7名は仕事をもっているもので、できるだけ負担の少ない活動を寿台地区の民生活動における基本的な方針としています。民生児童委員の担当者には会長就任の条件として以下のことを了解して行動をしてもらっています。担当者の活動については、1年における訪問活動回数数の最低限の実施の依頼と、担当地区での相談事については確実に実施にし各関係部所との連携を必ず行うことと、報告（事後で可）をお願いしています。

また、福祉ひろば事業への参加ということで、ふれあい健康教室や高齢者会食会の手伝いをおして住民との関わり合いを持つていくようにしています。

実際の日常の活動は、包括支援だよりを利用して各担当者が対象家庭を訪問して話をきいて

いて、定例会ではその中で困った事の相談をみんなで意見交換をしています。また数は少ないのですが、こんにちば赤ちゃん事業も主任児童委員と連携して確実に行っています。

実際にあったトラブルは、ある町会の団地入所者の家の電気が3日もつかず新聞も溜まった状態で、訪問しても出てくる様子が無かったので管理者とも相談して担当者が警察に連絡したそうです。事件・事故の可能性ということ窓ガラスを割って入り搜索したが、本人は室内にはおらず福祉施設を利用して泊まりに行っていたことが判明した。大事には至らず大変良かったのですが、困ったことは窓ガラスの修理や鍵の修理等で安全上の理由で本人は福祉施設から戻ることができず、また費用は誰が払うかで揉めたそうです。

今回も同じような事例が発生し、担当者は過去の経験からまず包括支援センターに相談し、そこから高齢福祉課の担当者に連絡がいき、次に市担当者から警察に連絡してもらいました。実際にはこちら警察が窓

ガラスを割って入ったところ、残念ながら本人はお風呂場で亡くなっていたとのことでした。但し、こちらの件の流れは市担当者が中に入っていたのでスムーズに行われました。担当者の精神的な負担は以前の事例に比較すると少なくともうまく対応ができたとの報告です。警察が介入してくる結果は同じなのですが、報告の順番は違うだけでこれだけの大事になるということでした。

このことから民生担当者はまず市の各部署の担当に連絡を入れ相談するか、判断がつかない時は包括支援センターに連絡を入れるようにと話し合いをしました。

まだ始まって6ヶ月余の期間なので相談もそう多くはないと思いますが、小さなことから住民との繋がりを持つように努力していきたいと考えています。



部会活動の様子

社会福祉部会

広域フードパントリー事業「むすびや」

視察研修

7月13日



フードパントリー事業についてのお話をお聞きました。

児童福祉部会

「児童養護施設 軽井沢学園」

視察研修

7月14日



施設についてのお話をお聞きました。

広報部会

「ふれあい88号」編集会議の様子

7月13日

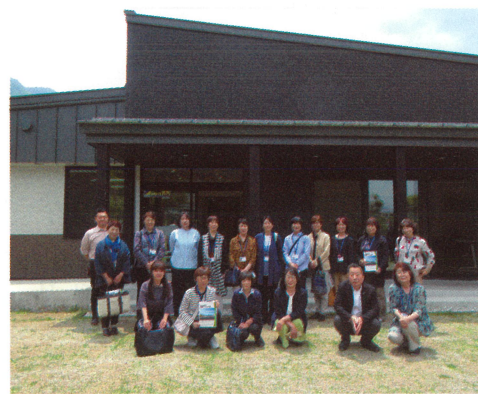


主任児童委員会

「木曾ねざめ学園」

視察研修

6月22・23日



現状や課題等のお話をお聞きました。

地区活動の様子

安原地区

「サマーナイトフェスタ in 安原」7月14日



コロナ禍で中止していた「サマーナイトフェスタ in 安原」を今年は開催することができ、多くの住民が楽しみました。

主任児童委員会

「全体研修」

7月10日



こどもプラザや赤ちゃん訪問、児童園についてのお話をお聞きました。

地区とのかかわり

庄内地区民生委員・児童委員協議会

青木 健太

庄内地区は15町会あります。とてもサロン活動が活発におこなわれており、11ヶ所でサロン、いきいき百歳体操がおこなわれています。

日々の訪問活動で多い相談とサロンなどの茶話会などで出てくる会話が良く似ている部分が多いと思います。

庄内地区には、地域づくりセンター、地区生活支援員、サロン代表者、有償ボランティアの皆さんで構成している、「庄内福祉のチカラ」という会があります。その会の皆さんが協力しあい、令和4年3月末に「庄内地区高齢者生活支援ガイドブック」が完成しました。

内容は、各サロンの案内、薬局、理美容訪問カット、灯油配達、包括支援センター、福祉ひろば、地区保健師在籍案内など、社会福祉協議会のつむぎちゃんサポート、高齢者福祉サービスなど、とても見やすく分かりやすい1冊の本になっています。

今までの配布物と違い、今回のガ

イドブックは、高齢者単身世帯に用意されており、訪問時に配布しております。皆さんに好評ですし、自分たちも改めて勉強になりました。

近年、庄内地区も松本市でも上位の人口になり、なかなか全部をカバー出来ないところがありますが、「庄内福祉のチカラ」の他にも様々な団体があります。福祉ひろば、町会、行政機関などと協力しあい、安心して楽しくいきいき暮らせるそんな庄内地区の皆さんの少しお手伝いが出来ればと思います。

**庄内地区
高齢者生活支援
ガイドブック**

庄内地区民生活支援センター
高齢者生活支援センター
高齢者生活支援センター
高齢者生活支援センター
高齢者生活支援センター

お気軽にお電話を！

高齢者生活支援センター 24-1611
高齢者生活支援センター 24-1611
高齢者生活支援センター 24-1611
高齢者生活支援センター 24-1611
高齢者生活支援センター 24-1611

松本市 高齢者福祉サービス

高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス

高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス
高齢者福祉サービス

つばめ

岡田地区民生委員・

児童委員協議会

伊藤 睦子

つばめの巣立ち

暑い毎日が続いています。
我家では、毎年5月になると
つばめがやってきます。今年も
その時が来ました。昨年の巣を
補強して、雌を誘うようなさえず
りを雄がして、カップルがで
きると、1ヶ月ほどで今年は2
羽の雛が巣から大きな口を出し
ました。餌を運ぶ親鳥の姿が、
なんともたくましい。大きくな
ると4羽がおしりを巣の外にむ
けて、糞をします。これがなん
ともかわいらしい。そしてあい
さつするように4羽で家の回り
を巡回して巣立ちします。

つばめの子育てに癒されてい
る毎日ですが、この自然と平和
を大切にしながら、来年も来る
んだよね。



編集後記

第88号ふれあいの発刊に参加させていただく事が出来ました。

新型コロナウイルスになり、行事、福祉ひろば、地域活動など活発になつてまいりました。

その交流の場に皆さんが元気で出かけられるように、民生児童委員として見守つて行きたいと思っています。

私達支える側も癒しの時間を作つて頑張りましょう。
(F・T)

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。取り上げてほしいテーマなどがございましたら事務局までお知らせください。

TEL 27-3381 FAX 27-2239